

## JISA-NASSCOM IT ビジネス・ダイアログ 2012 開催報告

JISA のインドのカウンターパート協会である NASSCOM のビジネスミッションが来日したのにあわせ、12月5日(水)16:30より、ホテルニューオータニにおいて、JISA グローバルビジネス部会主催 JISA-NASSCOM IT ビジネス・ダイアログ 2012 を開催した。インドより NASSCOM プレジデント Som Mittal 氏をはじめとして TCS、HCL、Wipro、Mahindra Satyam、Cognizant、Sasken、Infotech、NIIT 他、計 15 名、JISA からは大須賀 正之 グローバルビジネス部会 副部長(シーエーシー)をはじめとし、日立ソリューションズ、キャノン IT ソリューションズ、ジャステック、NTT データ、網屋、古河インフォメーション・テクノロジー、富士通エフ・アイ・ピー他計 18 名が参加した。

まず、ダイアログ議長の大須賀 副部長から歓迎挨拶とインド NASSCOM プレジデント Mittal 氏からの挨拶が行われた。続いて、JISA グローバルビジネス部会の上野委員(日立ソリューションズ)より発表が行われ、アメリカのグループ会社を間に入れることにより商習慣や文化の違いに対応した事例を取り上げ、問題点を克服して日印ビジネスを推進することを提案した。また、マルコム・メヘタ氏(シーエーシー)からは、日印ビジネスを推進するための JISA-NASSCOM 間でのジョイント・イニシアティブについて提案が行われた。このイニシアティブは、JISA グローバルビジネス部会の中にワーキンググループを設置し、NASSCOM 側のメンバーにも参加してもらい、今後 2 年間、日印間のビジネスを推進するために活動を行う予定。

引き続き、ネットワーキングカクテルが行われ、参加者間での意見交換が行われた。最後に、Som Mittal 氏から、毎年 2 月にムンバイで行われている NASSCOM 主催のカンファレンス NILF が、来年 2 月にもまた行われるので、是非参加して欲しいとのコメントがあった。

なお、このダイアログに先立ち、JISA 五十嵐 隆 副会長・国際委員長と NASSCOM プレジデント Som Mittal 氏の間で意見交換が行われた。五十嵐副会長・国際委員長からは、今年 2 月にインドを訪問した際の御礼と、今後の日印ビジネス推進のため JISA-NASSCOM 双方のコンタクトポイントをグローバルデスクとして活用していくことを提案。また、NASSCOM Som Mittal 氏からは、商習慣や言語などの壁が厚い日印間のビジネスを推進するには双方が歩み寄る努力が必要であること、また企業におけるトップダウンの意志決定が必要、と述べた。

以上